



## 腎臓の病期

北病院外来看護師  
糖尿病看護認定看護師

前田 るみ

弥生3月、季節の変わり目、人生でも卒業や移動など変化の多い時期ですね。

さて今回は腎臓の「病期」についてです。「糖尿病のコントロールが悪いと腎臓が悪くなって透析になるんだよね」と、患者さんからよく言われます。では、ご自身の腎臓の今の状態が「どの時期」にあるのかご存知でしょうか。糖尿病による腎臓の障害は、1期(正常)から5期(透析療法中)まで5段階に分かれています。どの病期かは、尿検査(アルブミン尿または尿たんぱく値)と血液検査(糸球体濾過量:eGFR)で診断されます。むくみや疲れやすさ、顔色の悪さなど自覚症状が現れたときはかなり進行している場合が多く、いかに透析までの期間を延ばすかになります。また初期の段階であれば、病期をもとに戻せる可能性もあります。

まず次回の診察でご自身の腎臓の病期を確認し、今必要な療養を明確にしましょう。

